

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第2学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文B 改訂版』、『精選 国語総合 改訂版』 その他自主教材				
その他					

### 年 間 授 業 計 画

月	学習項目	時間数	学習到達目標
4	小説三 「なめとこ山の熊」	10	賢治作品の同話的な語り愚痴のおもしろさに興味を持ち、「なめとこ山」という特殊な部隊空間の中で展開される人間と動物の共生について考えをめぐらし、人間観を深める。
5	小説三 「空缶」 《中間考査》	10	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉えながら、登場人物の原爆との向き合い方について理解しようとする。とくに、「私」を含めた六人が過ごしてきた戦後と心情の変化理を理解し、自分の考えをもとうとしている。
6	評論三 「なぜ私たちは労働するのか」	8	筆者が述べる「働くことの意味」について理解を深めようとし、「労働」は「私ひとり」が受益者ではないことを理解させる。
	「命は誰のものなのか」	8	筆者が述べる、分配されたものとしての「命」という考え方を理解し、引用事例や筆者の論理展開に着目する。
7	評論三 「想像力の行方」 《期末考査》	6	筆者が述べる「創造」の本質を理解しようとし、筆者の論理展開に注目して、筆者が述べようとする内容を理解し、論理展開を読み解く力を養う。
8	小説一 「山月記」	3	虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との出会いと対話によって、自尊心で固く閉ざされていた心を開いていく主人公李徴の心のありようを捉える。
9	小説一 「山月記」	8	漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めると共に、人物の心情を理解しながら文章を読めるようにする。
	「月火水木金土日」	8	「月火水木金土日」という物語の構成の面白さを理解すると共に、「わたし」の変化や注目し、擬態語の表現効果を理解する。
10	評論一 「ミロのヴィーナス」 《中間考査》	9	ミロのヴィーナスが両腕の欠落によって普遍的な美を獲得したのであり、失われた手が逆に可能な手への夢を奏で人間味を感じさせるという、作者の論理展開を理解する。
11	評論一 「未来世代への責任」 《期末考査》	10	現代世代が未来世代の利益を考慮して自己利益の追求を抑える倫理的存在にならなければ、環境問題は解決しないという筆者の主張を理解し、未来の世代に何ができるのかについて個々に考えられるようにする。
12	評論一 「恐怖とは何か」	6	「自我」をキーワードとして、人間の「恐怖」を具体例として理解できるようにする。特に人間の精神構造という形而上的な問題にも目を向け、自分の内面を見つめることで理解を深めるようにする。
1	評論二 「メディアと歴史」	6	「メディア」の現代に至る変遷と、「機械文明」「技術文明」としての現代社会の特徴を読み取れるようにする。
	入試対策 自主教材	3	実際の大学入試問題に触れることにより特に評論文の読み方について学び、論理的思考を養う。
2	評論二 「木の葉と光」	6	筆者の提唱する「環世界」の具体的概念・抽象的概念を理解し、環境問題についてどのように考えたら良いかと定める。
	入試対策 自主教材	6	実際の大学入試問題に触れることにより小説や随想などをキーワードや頻出後に注意して読めるようにする。
3	評論二 「コンクリートの時代」	6	二十一世紀のテーマであるグローバリゼーションを建築の領域で可能にしたのはコンクリートであることを理解する。
	入試対策 自主教材	5	大学入試センター試験などを扱い、評論文や小説の出題パターンに慣れるようにして、論理的に解く力を養っていく。

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第2学年 普通科 文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文B 改訂版』、『精選 国語総合 改訂版』 その他自主教材				
その他					

### 年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	小説三 「なめとこ山の熊」	9	賢治作品の同話的な語り愚痴のおもしろさに興味を持ち、「なめとこ山」という特殊な部隊空間の中で展開される人間と動物の共生について考えをめぐらし、人間観を深める。
5	小説三 「空缶」 《中間考査》	9	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉えながら、登場人物の原爆との向き合い方について理解しようとする。とくに、「私」を含めた六人が過ごしてきた戦後と心情の変化を理解し、自分の考えをもとうとしている。
6	評論三 「なぜ私たちは労働するのか」	10	筆者が述べる「働くことの意味」について理解を深めようとし、「労働」は「私ひとり」が受益者ではないことを理解させる。
	「命は誰のものなのか」	10	筆者が述べる、分配されたものとしての「命」という考え方を理解し、引用事例や筆者の論理展開に着目する。
7	評論三 「想像力の行方」 《期末考査》	6	筆者が述べる「創造」の本質を理解しようとし、筆者の論理展開に注目して、筆者が述べようとする内容を理解し、論理展開を読み解く力を養う。
8	小説一 「山月記」	3	虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との出会いと対話によって、自尊心で固く閉ざされていた心を開いていく主人公李徴の心のありようを捉える。
9	小説一 「山月記」	4	漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めると共に、人物の心情を理解しながら文章を読めるようにする。
	「月火水木金土日」	8	「月火水木金土日」という物語の構成の面白さを理解すると共に、「わたし」の変化や注目し、擬態語の表現効果を理解する。
10	評論一 「ミロのヴィーナス」 《中間考査》	13	ミロのヴィーナスが両腕の欠落によって普遍的な美を獲得したのであり、失われた手が逆に可能な手への夢を奏で人間味を感じさせるという、作者の論理展開を理解する。
11	評論一 「未来世代への責任」 《期末考査》	13	現代世代が未来世代の利益を考慮して自己利益の追求を抑える倫理的存在にならなければ、環境問題は解決しないという筆者の主張を理解し、未来の世代に何ができるのかについて個々に考えられるようにする。
12	評論一 「恐怖とは何か」	6	「自我」をキーワードとして、人間の「恐怖」を具体例として理解できるようにする。特に人間の精神構造という形而上的な問題にも目を向け、自分の内面を見つめることで理解を深めるようにする。
1	評論二 「メディアと歴史」	6	「メディア」の現代に至る変遷と、「機械文明」「技術文明」としての現代社会の特徴を読み取れるようにする。
	入試対策 自主教材	3	実際の大学入試問題に触れることにより特に評論文の読み方について学び、論理的思考を養う。
2	評論二 「木の葉と光」	6	筆者の提唱する「環世界」の具体的概念・抽象的概念を理解し、環境問題についてどのように考えたら良いかと定める。
	入試対策 自主教材	6	実際の大学入試問題に触れることにより小説や随想などをキーワードや頻出後に注意して読めるようにする。
3	評論二 「コンクリートの時代」	6	二十一世紀のテーマであるグローバリゼーションを建築の領域で可能にしたのはコンクリートであることを理解する。
	入試対策 自主教材	3	大学入試センター試験などを扱い、評論文や小説の出題パターンに慣れるようにして、論理的に解く力を養っていく。

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文B 改訂版』、『精選 国語総合 改訂版』 その他自主教材				
その他					

**年 間 授 業 計 画**

月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標
4	小説三	「なめとこ山の熊」	6	賢治作品の同話的な語り愚痴のおもしろさに興味を持ち、「なめとこ山」という特殊な部隊空間の中で展開される人間と動物の共生について考えをめぐらし、人間観を深める。
5	小説三	「空缶」 《中間考査》	8	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉えながら、登場人物の原爆との向き合い方について理解しようとする。とくに、「私」を含めた六人が過ごしてきた戦後と心情の変化理を理解し、自分の考えをもととしている。
6	評論三	「なぜ私たちは労働するのか」	6	筆者が述べる「働くことの意味」について理解を深めようとし、「労働」は「私ひとり」が受益者ではないことを理解させる。
		「命は誰のものなのか」	6	筆者が述べる、分配されたものとしての「命」という考え方を理解し、引用事例や筆者の論理展開に着目する。
7	評論三	「想像力の行方」 《期末考査》	4	筆者が述べる「創造」の本質を理解しようとし、筆者の論理展開に注目して、筆者が述べようとする内容を理解し、論理展開を読み解く力を養う。
8	小説一	「山月記」	2	虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との出会いと対話によって、自尊心で固く閉ざされていた心を開いていく主人公李徴の心のありようを捉える。
9	小説一	「山月記」	3	漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めると共に、人物の心情を理解しながら文章を読めるようにする。
		「月火水木金土日」	5	「月火水木金土日」という物語の構成の面白さについて理解すると共に、「わたし」の変化や注目し、擬態語の表現効果を理解する。
10	評論一	「ミロのヴィーナス」 《中間考査》	6	ミロのヴィーナスが両腕の欠落によって普遍的な美を獲得したのであり、失われた手が逆に可能な手への夢を奏で人間味を感じさせるという、作者の論理展開を理解する。
11	評論一	「未来世代への責任」 《期末考査》	6	現代世代が未来世代の利益を考慮して自己利益の追求を抑える倫理的存在にならなければ、環境問題は解決しないという筆者の主張を理解し、未来の世代に何ができるのかについて個々に考えられるようにする。
12	評論一	「恐怖とは何か」	7	「自我」をキーワードとして、人間の「恐怖」を具体例として理解できるようにする。特に人間の精神構造という形而上的な問題にも目を向け、自分の内面を見つめることで理解を深めるようにする。
1	評論二	「メディアと歴史」	4	「メディア」の現代に至る変遷と、「機械文明」「技術文明」としての現代社会の特徴を読み取れるようにする。
	入試対策	自主教材	2	実際の大学入試問題に触れることにより特に評論文の読み方について学び、論理的思考を養う。
2	評論二	「木の葉と光」	4	筆者の提唱する「環世界」の具体的概念・抽象的概念を理解し、環境問題についてどのように考えたら良いか例をあげてまとめる。
	入試対策	自主教材	4	実際の大学入試問題に触れることにより小説や随想などをキーワードや頻出後に注意して読めるようにする。
3	評論二	「コンクリートの時代」	4	二十一世紀のテーマであるグローバルゼーションを建築の領域で可能にしたのはコンクリートであることを理解できるようにする。
	入試対策	自主教材	2	大学入試センター試験などを扱い、評論文や小説の出題パターンに慣れるようにして、論理的に解く力を養っていく。

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古文の読解に必要な基本古語及び文法に関する基本知識を身につけ、作品に描かれた人物、心情、社会背景などを読み味わい、時代と人間の関わり方を考えとともに、歴史の中に人間を探る姿勢を身につける。漢文では、読解に必要な基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深めるとともに、併せて優れた文章、詩に触れることによって中国の文化への理解を深める。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	大修館書店『精選古典B 改訂版』、三省堂「精選国語総合 改訂版」 その他自主教材				
その他					

### 年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、古文 軍記 平家物語 「祇園精舎」 2、漢文 史話 「鶏口牛後」		5 5	1、平家物語を読み解くことにより、無常観を理解できるようにしていく。また、音読を通して語り物としての平家物語の面白さを知る。2、合従連衡を繰り返した戦国時代の歴史に目を向け、そのありさまを描く文章表現を理解できるようにする。
5	1、古文 和歌 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 2、漢文 思想 「論語・孟子」		6 6	1、和歌の詠まれた状況や場を読み取り、それぞれの和歌の心情を理解できるようにする。また和歌特有の修辞技巧を学ぶ。2、孔子が「学」において何を重視しているか、また「仁」においてはどのような点を説こうとしているかを理解する。
6	1、古文 紀行 奥の細道 「旅立ち」 2、漢文 文章 「雑説」 《期末考査》		5 5	1、「旅立ち」を読むことにより芭蕉の旅への思いを理解できるようにする。また「行く春や…」に込められた作者の思いを考えさせる。2、漢文を読む上で重要な句法や助字が多いので、理解できるようにすると共に論理展開が分かるようにしていく。
7	1、古文 紀行 奥の細道 「立石寺」 2、漢文 小説 「復活」		4 2	1、立石寺に描かれている歴史的な背景について理解すると共に「夏草や…」「閑かさや…」の俳句の比較して作者の思いを考えさせる。2、志怪小説を読むことにより、男女の愛情の深さ故に怪奇現象がおこるとい面白さについて理解できるようにする。
8	1、漢文 小説 「復活」		2	1、今まで学んだ知識の復習をする。とくに助字が、小説の展開や登場人物の心情を効果的に表現している点を理解できるようにしていく。
9	1、古文 随筆 竹取物語 「かぐや姫の昇天」 2、漢文 故事成語 「知音」		4 4	1、「竹取物語」の概要を確認し、興味・関心を高める。また、昇天するまでのかぐや姫の心情や現世に対する思いを理解できるようにする。2、登場人物が真に相手を理解したものと士であることを理解する。また、重要な句法を理解できるようにする。
10	1、古文 物語 伊勢物語 「月やあらぬ」 《中間考査》 2、漢文 故事成語 「画竜点睛」		3 3	1、主人公である在原業平の心情が理解できるようにすると共に、和歌について把握できるようにする。また「みやび」について理解する。2、絵の名人の逸話を学ぶと共に、日本でも雪舟のエピソードがある点について理解する。また語法について繰り返し説明する。
11	1、古文 随筆 枕草子 「中納言参りたまひて」 2、漢文 史伝 「鴻門の会」 《期末考査》		3 3	1、枕草子を学ぶことにより、清少納言の機知に富んだ行為について理解させると共に、敬語法について理解させる。2、項羽と劉邦の話を読み、中国の歴史の奥深さを味わうと共に、二人の英雄の人物の違いについて理解させる。
12	1、漢文 史伝 「項王の最後」		4	1、項羽の最後の場面を読み、項羽という人物について考えを深めると共に、「四面楚歌」という状況について理解を深める。また、長い文章を読むことにより漢文についてより詳しく学んでいく。
1	1、古文 日記 更級日記 「源氏の五十余巻」 1、漢文 思想 「不忍人之心」		3 3	1、更級日記を学び、現在と過去が微妙に交錯する点に注意しながら、作者が少女時代の感動をどのように見つけ表現しているかを読み味わい、内省的な日記世界への理解を深める。2、性善説を学ぶことによって、自己の内面を見つめる契機とする。また、論理的な文章を理解できるようにする。
2	1、古文 物語 源氏物語 「桐壺」 2、漢文 思想 「人之性悪」 《学年末考査》		4 2	1、源氏物語「桐壺」を学ぶことにより、登場人物の心情を理解すると共に、大まかな概要についても理解できるようにする。2、性悪説を学ぶことにより、性善説・性悪説のどちらの立場に立つか考え、その理由も説明できるようにする。
3	1、古文 物語 源氏物語 「若紫」 2、漢文 小説 「定伯売鬼」		3 3	1、源氏物語「若紫」を読むことにより、登場人物の心理を理解できるようにする。また、桐壺～若紫までのストーリーについても理解を深める。2、比較的長い漢文の小説を読むことにより、話の面白さについて理解できるようにする。また、重要な句法について繰り返し演習を行い、理解を深める。

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科 文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古文の読解に必要な基本古語及び文法に関する基本知識を身につけ、作品に描かれた人物、心情、社会背景などを読み味わい、時代と人間の関わり方を考えとともに、歴史の中に人間を探る姿勢を身につける。漢文では、読解に必要な基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深めるとともに、併せて優れた文章、詩に触れることによって中国の文化への理解を深める。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	大修館書店『精選古典B 改訂版』、三省堂「精選国語総合 改訂版」 その他自主教材				
その他					

**年 間 授 業 計 画**

月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、古文 軍記 平家物語 「祇園精舎」 2、漢文 史話 「鶏口牛後」		6 6	1、平家物語を読み解くことにより、無常観を理解できるようにしていく。また、音読を通して語り物としての平家物語の面白さを知る。2、合従連衡を繰り返した戦国時代の歴史に目を向け、そのありさまを描く文章表現を理解できるようにする。
5	1、古文 和歌 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 2、漢文 思想 「論語・孟子」		4 4	1、和歌の詠まれた状況や場を読み取り、それぞれの和歌の心情を理解できるようにする。また和歌特有の修辞技巧を学ぶ。2、孔子が「学」において何を重視しているか、また「仁」においてはどのような点を説こうとしているかを理解する。
6	1、古文 紀行 奥の細道 「旅立ち」 2、漢文 文章 「雑説」 《期末考査》		3 3	1、「旅立ち」を読むことにより芭蕉の旅への思いを理解できるようにする。また「行く春や…」に込められた作者の思いを考えさせる。2、漢文を読む上で重要な句法や助字が多いので、理解できるようにすると共に論理展開が分かるようにしていく。
7	1、古文 紀行 奥の細道 「立石寺」 2、漢文 小説 「復活」		4 5	1、立石寺に描かれている歴史的な背景について理解すると共に「夏草や…」「閑かさや…」の俳句の比較して作者の思いを考えさせる。2、志怪小説を読むことにより、男女の愛情の深さ故に怪奇現象がおこるとい面白さについて理解できるようにする。
8	1、漢文 小説 「復活」		2	1、今まで学んだ知識の復習をする。とくに助字が、小説の展開や登場人物の心情を効果的に表現している点を理解できるようにしていく。
9	1、古文 随筆 竹取物語 「かぐや姫の昇天」 2、漢文 故事成語 「知音」		4 4	1、「竹取物語」の概要を確認し、興味・関心を高める。また、昇天するまでのかぐや姫の心情や現世に対する思いを理解できるようにする。2、登場人物が真に相手を理解したものと士であることを理解する。また、重要な句法を理解できるようにする。
10	1、古文 物語 伊勢物語 「月やあらぬ」 《中間考査》 2、漢文 故事成語 「画竜点睛」		3 3	1、主人公である在原業平の心情が理解できるようにすると共に、和歌について把握できるようにする。また「みやび」について理解する。2、絵の名人の逸話を学ぶと共に、日本でも雪舟のエピソードがある点について理解する。また語法について繰り返し説明する。
11	1、古文 随筆 枕草子 「中納言参りたまひて」 2、漢文 史伝 「鴻門の会」 《期末考査》		3 3	1、枕草子を学ぶことにより、清少納言の機知に富んだ行為について理解させると共に、敬語法について理解させる。2、項羽と劉邦の話を読み、中国の歴史の奥深さを味わうと共に、二人の英雄の人物の違いについて理解させる。
12	1、漢文 史伝 「項王の最後」		4	1、項羽の最後の場面を読み、項羽という人物について考えを深めると共に、「四面楚歌」という状況について理解を深める。また、長い文章を読むことにより漢文についてより詳しく学んでいく。
1	1、古文 日記 更級日記 「源氏の五十余巻」 1、漢文 思想 「不忍人之心」		3 3	1、更級日記を学び、現在と過去が微妙に交錯する点に注意しながら、作者が少女時代の感動をどのように見つけ表現しているかを読み味わい、内省的な日記世界への理解を深める。2、性善説を学ぶことによって、自己の内面を見つめる契機とする。また、論理的な文章を理解できるようにする。
2	1、古文 物語 源氏物語 「桐壺」 2、漢文 思想 「人之性悪」 《学年末考査》		4 2	1、源氏物語「桐壺」を学ぶことにより、登場人物の心情を理解すると共に、大まかな概要についても理解できるようにする。2、性悪説を学ぶことにより、性善説・性悪説のどちらの立場に立つか考え、その理由も説明できるようにする。
3	1、古文 物語 源氏物語 「若紫」 2、漢文 小説 「定伯売鬼」		3 3	1、源氏物語「若紫」を読むことにより、登場人物の心理を理解できるようにする。また、桐壺～若紫までのストーリーについても理解を深める。2、比較的長い漢文の小説を読むことにより、話の面白さについて理解できるようにする。また、重要な句法について繰り返し演習を行い、理解を深める。

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古文の読解に必要な基本古語及び文法に関する基本知識を身につけ、作品に描かれた人物、心情、社会背景などを読み味わい、時代と人間の関わり方を考えとともに、歴史の中に人間を探る姿勢を身につける。漢文では、読解に必要な基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深めるとともに、併せて優れた文章、詩に触れることによって中国の文化への理解を深める。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	大修館書店『精選古典B 改訂版』、三省堂「精選国語総合 改訂版」 その他自主教材				
その他					

**年 間 授 業 計 画**

月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、古文 軍記 平家物語 「祇園精舎」		5	1、平家物語を読み解くことにより、無常観を理解できるようにしていく。また、音読を通して語り物としての平家物語の面白さを知る。2、合従連衡を繰り返した戦国時代の歴史に目を向け、そのありさまを描く文章表現を理解できるようにする。
	2、漢文 史話 「鶏口牛後」		5	
5	1、古文 和歌 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集		6	1、和歌の詠まれた状況や場を読み取り、それぞれの和歌の心情を理解できるようにする。また和歌特有の修辞技巧を学ぶ。2、孔子が「学」において何を重視しているか、また「仁」においてはどのような点を説こうとしているかを理解する。
	2、漢文 思想 「論語・孟子」		6	
6	1、古文 紀行 奥の細道 「旅立ち」		4	1、「旅立ち」を読むことにより芭蕉の旅への思いを理解できるようにする。また「行く春や…」に込められた作者の思いを考えさせる。2、漢文を読む上で重要な句法や助字が多いので、理解できるようにすると共に論理展開が分かるようにしていく。
	2、漢文 文章 「雑説」		4	
	《期末考査》			
7	1、古文 紀行 奥の細道 「立石寺」		4	1、立石寺に描かれている歴史的な背景について理解すると共に「夏草や…」 「閑かさや…」の俳句の比較して作者の思いを考えさせる。2、志怪小説を読むことにより、男女の愛情の深さ故に怪奇現象がおこるとい面白さについて理解できるようにする。
	2、漢文 小説 「復活」		2	
8	1、漢文 小説 「復活」		2	1、今まで学んだ知識の復習をする。とくに助字が、小説の展開や登場人物の心情を効果的に表現している点を理解できるようにしていく。
9	1、古文 随筆 竹取物語 「かぐや姫の昇天」		4	1、「竹取物語」の概要を確認し、興味・関心を高める。また、昇天するまでのかぐや姫の心情や現世に対する思いを理解できるようにする。2、登場人物が真に相手を理解したものと士であることを理解する。また、重要な句法を理解できるようにする。
	2、漢文 故事成語 「知音」		4	
10	1、古文 物語 伊勢物語 「月やあらぬ」		3	1、主人公である在原業平の心情が理解できるようにすると共に、和歌について把握できるようにする。また「みやび」について理解する。2、絵の名人の逸話を学ぶと共に、日本でも雪舟のエピソードがある点について理解する。また語法について繰り返し説明する。
	2、漢文 故事成語 「画竜点睛」		3	
	《中間考査》			
11	1、古文 随筆 枕草子 「中納言参りたまひて」		3	1、枕草子を学ぶことにより、清少納言の機知に富んだ行為について理解させると共に、敬語法について理解させる。2、項羽と劉邦の話を読み、中国の歴史の奥深さを味わうと共に、二人の英雄の人物の違いについて理解させる。
	2、漢文 史伝 「鴻門の会」		3	
	《期末考査》			
12	1、漢文 史伝 「項王の最後」		4	1、項羽の最後の場面を読み、項羽という人物について考えを深めると共に、「四面楚歌」という状況について理解を深める。また、長い文章を読むことにより漢文についてより詳しく学んでいく。
1	1、古文 日記 更級日記 「源氏の五十余巻」		3	1、更級日記を学び、現在と過去が微妙に交錯する点に注意しながら、作者が少女時代の感動をどのように見つけ表現しているかを読み味わい、内省的な日記世界への理解を深める。2、性善説を学ぶことによって、自己の内面を見つめる契機とする。また、論理的な文章を理解できるようにする。
	1、漢文 思想 「不忍人之心」		3	
2	1、古文 物語 源氏物語 「桐壺」		4	1、源氏物語「桐壺」を学ぶことにより、登場人物の心情を理解すると共に、大まかな概要についても理解できるようにする。2、性悪説を学ぶことにより、性善説・性悪説のどちらの立場に立つか考え、その理由も説明できるようにする。
	2、漢文 思想 「人之性悪」		2	
	《学年末考査》			
3	1、古文 物語 源氏物語 「若紫」		3	1、源氏物語「若紫」を読むことにより、登場人物の心理を理解できるようにする。また、桐壺～若紫までのストーリーについても理解を深める。2、比較的長い漢文の小説を読むことにより、話の面白さについて理解できるようにする。また、重要な句法について繰り返し演習を行い、理解を深める。
	2、漢文 小説 「定伯売鬼」		3	

教科名	地歴科	科目名	世界史A	単位数	2単位
対象学年	第2学年 普通科特別進学コース 普通科文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
学習内容の概要	○文明のおこり ○諸地域世界の形成と交流 ○一体化に向かう世界				
学習方法	教科書・ノート・地図・資料集の活用をベースに基礎的知識を学び、世界の歴史の流れや各文化の特色、現代世界の形成の歴史的過程を把握させる。				
評価の観点・評価方法	基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。 定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	山川出版社「改訂版世界の歴史A」				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1部 世界の一体化と日本 第1章 世界の諸文明 1 東アジア世界Ⅰ	東アジアの風土と人々、中国文明の誕生、秦・漢代、北方民族の侵入と隋・唐の統一	2	文明化を進める日本にとっての最初のモデルとして、隋・唐帝国の構造・文化に関心を持つことが出来る。	入学式
			2		
			2		
5	2 東アジア世界Ⅱ	東アジア世界の形成、東アジア世界の変容、北方民族と中国の一体化	2	「朝貢の使者」の図版から、様々な地域から使者が来訪する中華帝国の広がりについて関心を持つことが出来る。	中間考査
			2		
			2		
6	5 西アジア世界Ⅰ 6 西アジア世界Ⅱ	西アジアの風土と人々、古代の大帝国、文字の誕生、一神教のふるさと  イスラーム教の誕生、カリフの時代、トルコ系・モンゴル系の人々の登場。	2	人類最古の農耕文明が形成された西アジア世界の巨大な歴史的意義に気付くことが出来る。  アフリカから東南アジアに及ぶ地理的広がり認識から、ムスリムの支配領域としての「イスラーム世界」の歴史的由来に関しての主体的な関心を持つことが出来る。	
			2		
			2		
7	7 古代地中海世界 8 ヨーロッパ世界Ⅰ	ヨーロッパの風土と人々、古代ギリシャ世界、ヘレニズムの誕生、古代ローマ帝国  ゲルマン人の国々、フランク王国、封建社会の形成、ビザンツ帝国(東ローマ帝国)	2	近代世界にとっての「古典古代」としてのギリシャ諸都市国家やローマ帝国の歴史的意義について考察できる。  西欧の中世社会を、封建的主従関係と領主制の2層構造として、立体的に考察できる。	期末考査  終業式
			2		
			2		
8	9 ヨーロッパ世界Ⅱ	都市と商業の復活、ローマ教会の発展、十字軍、王権と集権国家の成長	2	教科書の年表などを用いて、叙任権闘争を始めとする聖俗の権力間の争いを整理し、その背景について多面的に考察できる。	始業式
9	第2章 世界の一体化の始まり  10 16世紀の世界と一体化の始まり  11 明代の東アジア  12 清代の東アジア	ユーラシアの繁栄、アジアの通商、香辛料と銀  明の建国と発展、近接諸国との動向、北虜南倭と明の衰退  清の統合東アジア世界の拡大、清代の社会、東アジアとヨーロッパの文化交流	2	16世紀の世界にあつては、物質的な豊かさや高度な精神文化の中心は、繁栄するアジア諸国にあつたという点に注目できる。  世界の一体化に向かう動きが始まったヨーロッパと、明を中心とした国際秩序に向かうヨーロッパを対比的にみる事が出来る。  ヨーロッパがアジアに進出を始めたころ、アジアでは清という強大な帝国が成立し、繁栄していたことに注目することが出来る。	
			2		
			2		
			2		
10	15 大航海とアメリカ征服  16 新しい時代の始まりとルネサンス  17 宗教改革	スペイン・ポルトガルの海外進出、アメリカの征服・植民地化  新しいヨーロッパ、イタリアとネーデルラント、科学技術、戦争の時代  信仰の刷新、ルターと諸侯、カルヴァンとユグノー、イギリス国教会、カトリックの改革	2	アメリカ先住民の国家・文明が、少数のヨーロッパ人の手でもろくも滅ぼされてしまったなぜか、その原因を考察できる。  近代世界の開幕を世界観・人間観を含む文化・思想の上で告げるものとしてのルネサンスの歴史的意義に気付くことが出来る。	中間考査
			2		
			2		
			2		
11	18 スペインの時代からオランダの時代へ	スペインの黄金時代、オランダの繁栄、17世紀の戦乱、主権国家体制。	2	新大陸のもたらした富が、スペイン世界帝国の繁栄の基礎をなしたことを理解し、また、スペインが没落してオランダが派遣を握った要因を多面的に考察できる。	
			2		
			2		
			2		
12	19 絶対王政と議会王政	フランス議会王政、イギリス議会王政	2	17世紀イギリスの2つの革命について、その命名の理由を明らかにすることを通じて、両者の性格の違いの相違についても理解できる。	期末考査  終業式
			2		
			2		
1	20 東ヨーロッパの専制 21 大西洋経済	東ヨーロッパの社会と政治、プロイセンとオーストリア、ロシア帝国  ヨーロッパ経済の成長、大西洋の三角貿易、西欧を中心とする経済	2	オーストリアやプロイセンなどの宮廷とモーツァルトらの音楽家の関係に興味を抱くことが出来る。  三角貿易と呼ばれる循環貿易の一環についての理解を深める。	始業式
			2		
			2		
2	第三章 近代の世界 22 啓蒙とアメリカの独立	啓蒙の世紀、革命の時代、アメリカ独立革命。	2	啓蒙思想誕生の背景を多面的にとらえ、その後のヨーロッパにあつた影響を客観的に整理できる。	
			2		
			2		
			2		
3	1年間のまとめ		2	1年間の学習のまとめをおこなう。	終業式

教科名	歴史	科目名	世界史B	単位数	4単位
対象学年	第2学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	2TZ文系 2G
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を培う。				
学習内容の概要	○序章：先史の世界 ○第Ⅰ部：第1章オリエントと地中海世界～第3章：内陸アジア世界・東アジア世界の形成 ○第Ⅱ部：第4章イスラーム世界の形成と発展～第6章内陸アジア世界・東アジア世界の展開 ※近世～現代までは概観する ○第Ⅲ部：第7章アジア諸地域の繁栄～第12章アジア諸地域の動揺 ○第Ⅳ部：第13章帝国主義とアジアの民族運動～第16章現在の世界				
学習方法	○歴史はつながっている。集中して授業に取り組むことが大切。 ○定期考査は模試・入試に直結する土台。しっかりと学習を積み、80点以上をめざす。				
評価の観点・ 評価方法	基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。 定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	『詳説世界史B改訂版』（山川出版社）				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な行事
4	序章先史の世界 第Ⅰ部 第1章オリエントと地中海世界	人類の進化・文化から文明へ・ 人類と言語の文化 1 古代オリエント世界 2 ギリシア世界	4 4 4	・人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に、人類と言語の分化を理解する。 ・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。	始業式
5	第2章アジア・アメリカの古代文明	3 ローマ世界 1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明	4 4 4	・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。 ・南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解する。 ・東南アジアの地理的特質を把握し、東南アジア世界における国家形成の過程を理解する。 ・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 ・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。	中間考査
6	第3章内陸アジア世界・東アジア世界の形成	1 草原の遊牧民の活動とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成	4 4 4 4	・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。 ・東アジアにおける北方遊牧民の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。 ・隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。	期末考査
7	第Ⅱ部 第4章 イスラーム世界の形成と発展	1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展	4 4 4	・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 ・トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムとの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大の過程を理解する。 ・イスラーム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容、	終業式



				イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。	
8	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	1 西ヨーロッパ世界の成立	4	・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。	始業式
9	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化 1 トルコ化とイスラーム化の進展 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国	4 4 4 4	・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。 ・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。 ・モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。	
10	第Ⅲ部 第7章 アジア諸地域の繁栄 第8章 近世ヨーロッパの形成	1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジアの交易の発展 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス	4 4 4 4	・中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 ・清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに、東アジア世界の動向を理解する。 ・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向と、その社会や文化の特質を理解する。 ・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解する。 ・ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 ・ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。	中間考査
11	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀のヨーロッパ文化と社会	4 4 4 4	・ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。 ・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 ・17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 ・17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色と、それを生み出した社会状況を理解する。	期末考査
12	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展	1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米文化	4 4 4	・イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 ・アメリカ独立革命の経過と、独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。 ・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 ・ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 ・クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編、イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程、ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。 ・ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展を理解する。	

				・ 19世紀の欧米文化の特徴と、その成立の背景を理解する。	終業式
1	<p>第12章 アジア諸地域の動揺</p> <p>第IV部 第13章 帝国主義とアジアの民族運動</p>	<p>1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容</p> <p>2 南アジア・東南アジアの植民地化</p> <p>3 東アジアの激動</p> <p>1 帝国主義と列強の展開</p> <p>2 世界分割と列強の対立</p> <p>3 アジア諸国の改革と民族運動</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>・ 西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン・アフガニスタンの動向を理解する。</p> <p>・ インドの植民地化とその社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。</p> <p>・ ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。</p> <p>・ 帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。</p> <p>・ 帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。</p> <p>・ 欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。</p>	始業式
2	<p>第14章 二つの世界大戦</p> <p>第15章 冷戦と第三世界の独立</p>	<p>1 第一次世界大戦とロシア革命</p> <p>2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</p> <p>3 アジア・アフリカ地域の民族運動</p> <p>4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略</p> <p>5 第二次世界大戦</p> <p>1 戦後世界の形成とアジア諸地域の独立</p> <p>2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>・ 第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし、20世紀の変動の基点となったことを理解せる。</p> <p>・ 国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する</p> <p>・ 中国や東南アジア諸国・インド・トルコや西アジア諸国・アフリカの民族運動の展開を理解する。</p> <p>・ 世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる時代を理解する。</p> <p>・ 第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。</p> <p>・ 第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。</p> <p>・ 中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の家庭を理解する。</p> <p>・ 朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。</p>	期末考査
3	<p>第16章 現在の世界</p>	<p>3 第三世界の台頭と米・ソの歩みより</p> <p>4 石油危機と世界経済の再編</p> <p>1 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展</p> <p>2 途上国の民主化と独裁政権の動揺</p> <p>3 地域紛争の激化と深刻化する貧困</p> <p>4 現代文明の諸相</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>・ 戦後20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を高めたことを理解する。</p> <p>・ ドル・ショック、オイル・ショック以降の国際経済の再編、冷戦終結への流れを理解する。</p> <p>・ 東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。</p> <p>・ 途上国の民社化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解する。</p> <p>・ 世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。</p> <p>・ 科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特徴について理解する。</p>	終業式

教科名	地理歴史科	科目名	日本史B	単位数	4単位
対象学年	普通科特別進学・文理選抜コース 第2学年	履修形態	必修	授業形態	文系選択者
a. 科目の目標	日本史全体の歴史的流れを、世界史的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として考える材料とし、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にしながら、問題解決的な「実践」的態度を養いたい。				
b. 学習内容の概要	①原始・古代、②中世の流れを理解する。※近世、近代・現代は第3学年で修得。第3学年世界史選択者に配慮するために、3学期に近世以降の日本史の概要把握をする。				
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。				
e. 使用教材	①教科書「詳説日本史B」山川出版社 ②問題集「日本史B10分間テスト」山川出版社 ③ワーク「詳説日本史Bノート」山川出版社 ④担当者オリジナル受験対策テキスト「日本史の基礎と応用」				
f. その他	平日講習は復習を中心とし、夏期講習、冬期講習は基本として授業を進めるものとする。				

### 年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	導入 日本史B	教科書記述の変化について	2	近年の教科書記述の変化を検討する。	始業式
	第1部 原始・古代	①旧石器時代とその文化	4	世界史の中の日本史という視点を大切にしながら、両者の歴史段階の相互比較を	模擬試験
	第1章 日本文化の あけぼの	②縄文時代とその文化 三内丸山遺跡について	3 1	行い、弥生時代までの日本列島の様子を明らかにする。	遠足
		③弥生時代の概観	2		
5		弥生時代の概観	3	文献史料の存在しない当時の日本	保護者会
		④中国史書からみた弥生時代	3	(「倭」)社会において、中国史書の重要性	中間考査
		⑤邪馬台国論争について	2	を理解し、考古学的成果と合わせて全体	模擬試験
		⑥古墳時代の時代区分	4	像を把握したい。	
6		⑦石碑・史書からみた古墳時代	2	「大王」から「天皇」へ、氏姓制度から仏教受容、律令国家体制へ、その変遷の過程について因果関係をしっかり把握する。日本史の基本的理解・流れの把握を通して、歴史の「楽しさ」を実感したい。	県総体
		⑧氏姓制度について	2		進学講演
		⑨記紀神話と古墳文化	2		模擬試験
	第2章 律令国家の 形成	⑩ヤマト政権の動揺 ①推古朝と蘇我、厩戸王	2 4		
7		②飛鳥文化と復習	4		期末考査
		③乙巳の変と大化の改新	2	皇極天皇～文武天皇の治世まで、政治	スポーツ祭
		④律令国家への道と白鳳文化	4	史を中心とする歴史の流れを把握する。唐	懇談会
		⑤律令法と統治機構	4	から受容した律令制度の日本の特質につ	終業式
8		⑥遣唐使、平城京の仕組み	2	いて理解したい。	進学合宿
		⑦奈良時代の政治闘争	1	奈良時代～平安初期の政治史の流れを	後期講習
		⑧初期荘園の成立、天平文化	1	理解する。天平文化や平安初期の文化	模擬試験
		⑨平安初期の政治史	1	を、飛鳥・白鳳文化の内容と比較検討し、	始業式
9		⑩弘仁・貞観文化	1	その特質を明らかにしたい。	
	第3章 貴族政治と 国風文化	①藤原氏北家と摂関政治	4	中臣(藤原)鎌足～藤原氏北家による摂	
		②荘園公領制の発展	4	関政治まで流れを理解する。荘園制の展	模擬試験
		③武士の成長	4	開過程を初期荘園とも比較し、その構造を	
10		④国風文化・まとめ	4	理解したい。	
	第2部 中世	①院政の開始	4	上皇と天皇の朝廷勢力、藤原摂関家、源	体育祭
	第4章 中世社会の 成立	②保元・平治の乱	4	氏と平氏の棟梁など複雑な勢力関係の基	中間考査
		③平氏政権と平安末期の文化	4	本的構造と流れを理解したい。総復習でこ	数学検定
11		④進研模試対策総まとめと演習	4	れまでの学習内容を把握する。	模擬試験
		⑤源平の争乱と鎌倉幕府成立	4	鎌倉幕府成立の過程～北条執権体制の確立まで、歴史の流れをつかむ。	創立記念日
		⑥鎌倉幕府の統治機構	6		模擬試験
		⑦北条氏と承久の乱	6		文化祭
	⑧貞永式目、武士の土地支配	4			
12		⑨蒙古襲来と幕府の衰退	4	北条執権体制～元寇による幕府の衰退	期末考査
		⑩鎌倉文化、とくに鎌倉仏教	4	まで、世界史的視野からもアプローチした	懇談会
			4	い。鎌倉仏教は親鸞弟子唯円「歎異抄」で	終業式
			4	理解を深めたい。	冬期講習
1	第5章 武家社会の 成長	①鎌倉幕府の滅亡	2	鎌倉幕府滅亡→建武の新政→南北朝	冬期講習
		②建武の新政	2	動乱→室町幕府の成立まで、政治史を中	始業式
		③南北朝動乱と室町幕府成立	4	心に流れを理解する。守護の権限拡大に	模擬試験
		④地頭→守護へ、権限拡大	4	ついて、地頭のそれと比較検討する。	入学試験
2		⑤日明貿易について	6	日明貿易について東アジア史との関連の	入学試験
		⑥一揆と応仁の乱	6	中で追究する。一揆の要求内容を世界史	
		⑦室町文化	4	のそれと比較検討したい。	期末考査
		⑧戦国大名の登場	4	戦国大名登場の背景を理解し、勢力分	卒業式
3		⑨分国支配と都市の発展	4	布図の記入を通じ、「天下」統一の意義を	特別授業
		⑩近世・近現代史へ	4	把握したい。また、近現代史への展望は、	模擬試験
				福沢諭吉の史料を用いるなど、その特色	模擬試験
				について考えを深めたい。	

教科名	地理歴史科	科目名	日本史B	単位数	4単位
対象学年	普通科総合進学コース 第2学年	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
a. 科目の目標	日本史全体の歴史的流れを、世界史的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として考える材料とし、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にしながら、問題解決的な「実践」的態度を養いたい。				
b. 学習内容の概要	①原始・古代、②中世の流れを理解する。※近世、近代・現代は第3学年で修得。第3学年世界史選択者に配慮するために、3学期に近世以降の日本史の概要把握をする。				
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価				
e. 使用教材	①教科書「詳説日本史B」山川出版社				
f. その他					

**年 間 授 業 計 画**

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項		
4	導入 日本史B	教科書記述の変化について	4	近年の教科書記述の変化を検討する。	始業式		
	第1部 原始・古代	①旧石器時代とその文化		世界史の中の日本史という視点を大切にしながら、両者の歴史段階の相互比較	模擬試験 遠足		
	第1章 日本文化の あけぼの	②縄文時代とその文化 三内丸山遺跡について ③弥生時代の概観	4 4	を行い、弥生時代までの日本列島の様子を明らかにする。			
	5		④中国史書からみた弥生時代 ⑤邪馬台国論争について ⑥古墳時代の時代区分	4 4 4	文献史料の存在しない当時の日本(「倭」)社会において、中国史書の重要性を理解し、考古学的成果と合わせて全体像を把握したい。	保護者会 中間考査 模擬試験	
6			⑦石碑・史書からみた古墳時代 ⑧氏姓制度について ⑨記紀神話と古墳文化 ⑩ヤマト政権の動揺	2 2 2 2	「大王」から「天皇」へ、氏姓制度から仏教受容、律令国家体制へ、その変遷の過程について因果関係をしっかり把握する。日本史の基本的理解・流れの把握を通して、歴史の「楽しさ」を実感したい。	県総体 進学講演 模擬試験	
		第2章 律令国家の 形成	①推古朝と蘇我、厩戸王 ②飛鳥文化と復習	4 4			期末考査
		7		③乙巳の変と大化の改新 ④律令国家への道と白鳳文化 ⑤律令法と統治機構 ⑥遣唐使、平城京の仕組み		2 4 4 2	皇極天皇～文武天皇の治世まで、政治史を中心とする歴史の流れを把握する。唐から受容した律令制度の日本の特質について理解したい。
	8			⑦奈良時代の政治闘争 ⑧初期荘園の成立、天平文化 ⑨平安初期の政治史 ⑩弘仁・貞観文化		4 4 4 4	奈良時代～平安初期の政治史の流れを理解する。天平文化や平安初期の文化を、飛鳥・白鳳文化の内容と比較検討し、その特質を明らかにしたい。
9			第3章 貴族政治と 国風文化	①藤原氏北家と摂関政治 ②荘園公領制の発展 ③武士の成長 ④国風文化・まとめ	4 4 4 4	中臣(藤原)鎌足～藤原氏北家による摂関政治まで流れを理解する。荘園制の展開過程を初期荘園とも比較し、その構造を理解したい。	模擬試験
			10	第2部 中世 第4章 中世社会の 成立	①院政の開始 ②保元・平治の乱 ③平氏政権と平安末期の文化 ④進研模試対策総まとめと演習	4 4 4 4	上皇と天皇の朝廷勢力、藤原摂関家、源氏と平氏の棟梁など複雑な勢力関係の基本的構造と流れを理解したい。総復習でこれまでの学習内容を把握する。
		11			⑤源平の争乱と鎌倉幕府成立 ⑥鎌倉幕府の統治機構 ⑦北条氏と承久の乱	4 6 6	鎌倉幕府成立の過程～北条執権体制の確立まで、歴史の流れをつかむ。
	12				⑧貞永式目、武士の土地支配 ⑨蒙古襲来と幕府の衰退 ⑩鎌倉文化、とくに鎌倉仏教	4 4 4	北条執権体制～元寇による幕府の衰退まで、世界史的視野からもアプローチしたい。鎌倉仏教は親鸞弟子唯円「歎異抄」で理解を深めたい。
1				第5章 武家社会の 成長	①鎌倉幕府の滅亡 ②建武の新政 ③南北朝動乱と室町幕府成立 ④地頭→守護へ、権限拡大	2 2 4 4	鎌倉幕府滅亡→建武の新政→南北朝動乱→室町幕府の成立まで、政治史を中心に流れを理解する。守護の権限拡大について、地頭のそれと比較検討する。
			2		⑤日明貿易について ⑥一揆と応仁の乱 ⑦室町文化	6 6 4	日明貿易について東アジア史との関連の中で追究する。一揆の要求内容を世界史のそれと比較検討したい。
		3			⑧戦国大名の登場 ⑨分国支配と都市の発展 ⑩近世・近現代史へ	4 4 4	戦国大名登場の背景を理解し、勢力分布図の記入を通じ、「天下」統一の意義を把握したい。また、近現代史への展望は、福沢諭吉の史料を用いるなど、その特色について考えを深めたい。

教科名	地理	科目名	地理B	単位数	3単位
対象学年	第2学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	分割授業 (理系)
科目の目標	「現代世界の地理的事象を系統地理的、地読的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示されている目標が本科目の目標である。				
学習内容の概要	「自然と生活」「世界の諸地域」を2年時で、「グローバル化する現代世界」「地球的な課題」を3年時に…と2年間に渡って学習する。				
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。				
評価の観点 ・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 具体的な評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。				
使用教材	帝国書院「新詳地理B最新版」 センター試験地理対応パワーアップ整理と演習 帝国書院「新詳高等地図初訂版」 帝国書院「地理統計」				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第I部自然と生活 ○自然環境と生活	○「和」の日本と「個」の欧米 ○世界の地形環境 ・大地形	3 3 3	・「和」が根底にある日本の文化と「個」が根底にある欧米の文化の違いは長い歴史の中から育まれてきたものであることを導入としたい。 ・プレートテクトニクス論などを通して地形の変遷を理解させる。	始業式
5		・小地形 ・地形図の読図 ○世界の気候 ・気候の三要素  ・ケッペンの気候区 熱帯の生活 乾燥帯の生活	3 3 3	・地形環境が構成する各種の地形を理解させ、それが人間生活に果たしている役割と意味を考察させる。 ・地形図に関する基本的知識を身に付けさせるとともに地図の利用について理解を深めさせる。 ・気候環境を構成している気候要素について、その基礎的知識を定着させる。	中間考査
6	○資源と産業	温帯の生活 亜寒帯の生活 寒帯の生活 ○日本の自然の特徴 ○農業(生産と流通)	3 3 3 3	・ケッペンの気候区分を通して、世界の気候区や土壌帯、植生の特色を理解させ、人間の生活との関係を考察させる。 ・日本の地体構造や気候の特色を理解させる。 ・世界の農業地域の区分と農業形態の基礎的知識を定着させる。	期末考査
7		○水産業	3 3 3	・世界と日本の水産業の現状、問題点を考察させる。	終業式
8		○鉱業 (資源の生産と流通)	3	・世界のエネルギー・鉱産資源についての基礎的知識を定着させる。	始業式
9	○生活と文化	○工業 (工業製品の生産と流通) ○衣食住	3 3 3 3	・工業の立地条件について考察させる。 ・衣食住は自然条件・社会条件によって地域的差異がみられることなどを理解させる。	
10		○宗教  ○消費と余暇時間	3 3 3 3	・世界の主要な宗教について、その分布と特色を理解させる。 ・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が諸地域に様々な形で影響を与えていることを理解させる。	中間考査
11		○村落と都市	3 3	・集落が立地する条件や発達について理解させ、あわせて、都市機能や結びつきも考察させ	

			3 3 3	る。	期末考査
12	第Ⅱ部世界の諸地域	○野外調査	3 3 3	・野外調査に関する基礎知識を定着させる。 ・多民族国家アメリカ合衆国の歴史を理解さ	終業式
1	○国家規模の地域の調査	○アメリカ合衆国	3 3 3	せ、抱えている課題を考察させる。また、世界に大きな影響を与えるアメリカ合衆国の農業・工業について理解させる。	始業式
2		○オーストラリア  ○インド	3 3 3 3	・多文化社会のオーストラリアの歩みや現状を理解させるとともに日本の関わりについて考察させる。 ・将来世界一の人口を擁するであろうインドの生活や産業の多様性に注目させ、その基礎的知識を学習させたい。	期末考査
3	州・大陸規模の地域の調査	○西アジア・中央アジア	3 3 3	・西アジア・中央アジアに共通した自然環境と、その中で生活する民族の文化・宗教など、生活環境の相違について理解させる。	終業式

教科名	公民科	科目名	公民演習	単位数	2単位
対象学年	普通科特別進学コース 第2学年	履修形態	選択	授業形態	2T文系
a. 科目の目標	現代社会の諸問題を主体的に考察・公正に判断する力、人としての生き方・在り方について考察する力を養う。				
b. 学習内容の概要	センター試験対策演習				
c. 学習方法	教科書・センター試験対策用まとめプリント・問題集を用いて、解法につながる土台をつくる。				
d. 評価方法	定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況				
e. 使用教材	教科書「東京書籍「現代社会313」」 センター試験対策用まとめプリント センター試験対策用問題集				
f. その他					

**年 間 授 業 計 画**

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	問題演習	センター試験対策演習			始業式
			2	○重要語句の整理	
			2		
5	問題演習	センター試験対策演習	2	○重要語句の整理	
			2		
			2		中間考査
6	問題演習	センター試験対策演習			
			2	○重要語句の整理	
			2		
			2		期末考査
7	問題演習	センター試験対策演習			
			2	○重要語句の整理	
			2	○1学期のまとめ	終業式
8	問題演習	センター試験対策演習			
			2	○1学期の確認	
					始業式
9	問題演習	センター試験対策演習	2	○重要語句の整理	
			2		
			2		
			2		
10	問題演習	センター試験対策演習	2	○重要語句の整理	中間考査
			2		
			2		
			2		
11	問題演習	センター試験対策演習	2	○重要語句の整理	
			2		
			2		
			2		期末考査
12	問題演習	センター試験対策演習	2	○重要語句の整理	
			2		終業式
			2	○2学期のまとめ	
1	問題演習	センター試験対策演習			
			2	○2学期の確認	始業式
			2	○重要語句の整理	
			2	○本年度センター試験の確認	
2	問題演習	センター試験対策演習	2	○重要語句の整理	
			2		
			2		期末考査
			2		
3	問題演習	センター試験対策演習	2	○重要語句の整理	卒業式
			2		
			2	○3学期のまとめ ○年間のまとめ	

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	4 単位
対象学年	第2学年(普通科) 特別進学コース(文系)	履修形態	必修	授業形態	特進文系
科目の目標	大学センター入試で7割以上を点数できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な応用力をつける。基本事項を早めに習得し、数学的思考力を身につける。				
学習内容の概要	多項式の除法、恒等式・不等式の証明(式と証明)。複素数について学び、簡単な3次、4次方程式を解く(複素数と方程式)。座標を用いて図形の性質を調べる(図形と方程式)。三角関数および指数関数と対数関数の性質とグラフについて学ぶ。曲線の接線を求め、関数のグラフをかく。また、曲線で囲まれた図形の面積を計算する(微分法と積分法)。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書 数学Ⅱ(数研出版) 問題集 4STEP数学Ⅱ+B(数研出版) 参考書 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)				
その他	平日の課外学習(80分)で、授業を終えた範囲の演習、3週に2回の土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	式と証明	式と証明	4 4 4	3次式の展開と因数定理 整式の割り算 恒等式	始業式 入学式
5	複素数と方程式	複素数と方程式	4 4	等式・不等式の証明 高次方程式 複素数	中間考査
6			4 4 4	2次方程式の解と判別式 解と係数の関係 剰余の定理と因数定理	進路合宿 期末考査
7			4 4 4	高次方程式	終業式 夏期講習
8	図形と方程式	点と直線	4	直線の方程式	始業式
9		円 軌跡と領域	4 4 4	2直線の関係 円の方程式 円と直線 軌跡と方程式	
10	指数関数と対数関数	指数関数	4 4 4	不等式の表す領域 指数の拡張 指数関数	中間考査
11	三角関数	三角関数	4 4 4	対数とその性質 対数関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ	
12			4 4 4	三角関数の応用 加法定理	期末考査 終業式
1	微分法と積分法	微分係数と導関数	4 4 4	加法定理の応用 三角関数の合成 微分係数	始業式
2		導関数の応用	4 4 4	導関数 接線・関数の値の変化 最大値・最小値	期末考査
3		積分法	4 4 4	不定積分 定積分 面積	終業式



教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	5 単位
対象学年	第2学年(普通科) 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	特進理系
科目の目標	大学センター入試で7割以上を点数できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な応用力をつける。基本事項を早めに習得し、数学的思考力を身につける。学年末には教科書の早期採択により、数学Ⅲの内容を学習する。				
学習内容の概要	多項式の除法、恒等式・不等式の証明(式と証明)。複素数について学び、簡単な3次、4次方程式を解く(複素数と方程式)。座標を用いて図形の性質を調べる(図形と方程式)。三角関数および指数関数と対数関数の性質とグラフについて学ぶ。曲線の接線を求め、関数のグラフをかく。また、曲線で囲まれた図形の面積を計算する(微分法と積分法)。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書 数学Ⅱ(数研出版) 問題集 4STEP数学Ⅱ+B(数研出版) 参考書 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)				
その他	平日の課外学習(80分)で、授業を終えた範囲の演習、3週に2回の土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	式と証明 複素数と方程式	式と証明 複素数と方程式	5 5 5	多項式の除法・恒等式 複素数 解と係数の関係	始業式 入学式
5	図形と方程式	点と直線	5 5	剰余の定理・因数定理 高次方程式 直線の方程式	中間考査
6		円 軌跡と領域	5 5 5	2直線の関係 円の方程式 円と直線 不等式の表す領域	進路合宿 期末考査
7		指数関数	5 5 5	指数の拡張	終業式 夏期講習
8			5		始業式
9	指数関数と対数関数 三角関数	三角関数	5 5 5 5	指数関数 対数とその性質 対数関数 三角関数の性質	
10		加法定理	5 5 5	三角関数のグラフ 三角関数の応用 加法定理	中間考査
11	微分法と積分法	微分係数と導関数	5 5 5 5	加法定理の応用 三角関数の合成 微分係数 導関数	
12		導関数の応用	5 5 5	接線・関数の値の変化 最大値・最小値	期末考査 終業式
1		積分法	5 5 5	不定積分 定積分 面積	始業式
2	問題演習	問題演習	5 5 5	センター試験対策演習	期末考査
3			5 5 5		終業式

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	3 単位
対象学年	第2学年(普通科) 文理選抜コース(理系・文系) 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	文理/ 総合進学一斉授業
科目の目標	大学センター入試で7割以上を点数できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な応用力をつける。基本事項を早めに習得し、数学的思考力を身につける。				
学習内容の概要	多項式の除法、恒等式・不等式の証明(式と証明)。複素数について学び、簡単な3次、4次方程式を解く(複素数と方程式)。座標を用いて図形の性質を調べる(図形と方程式)。三角関数および指数関数と対数関数の性質とグラフについて学ぶ。曲線の接線を求め、関数のグラフをかき。また、曲線で囲まれた図形の面積を計算する(微分法と積分法)。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書 新編 数学Ⅱ 問題集 (総合進学コース)3TRIAL 数学Ⅱ+B(数研出版) (文理選抜コース)サクシード 数学Ⅱ+B(数研出版) 問題集 (総合進学コース)パラレルノート数学Ⅱ(数研出版) 参考書 (文理選抜コース)チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B(数研出版)				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	式と証明	式と証明	3 3 3 3	3次式の展開と因数定理 整式の割り算 恒等式 等式・不等式の証明	始業式 入学式
5	複素数と方程式	複素数と方程式	3 3 3	高次方程式 複素数	中間考査
6			3 3 3 3	2次方程式の解と判別式 解と係数の関係 剰余の定理と因数定理	進路合宿 期末考査
7			3 3 3	高次方程式	終業式 夏期講習
8	図形と方程式	点と直線	3	直線の方程式	始業式
9		円 軌跡と領域	3 3 3 3	2直線の関係 円の方程式 円と直線 軌跡と方程式	
10	指数関数と対数関数	指数関数	3 3 3	不等式の表す領域 指数の拡張 指数関数	中間考査
11	三角関数	三角関数	3 3 3 3	対数とその性質 対数関数 三角関数の性質 三角関数のグラフ	
12			3 3 3	三角関数の応用 加法定理	期末考査 終業式
1	微分法と積分法	微分係数と導関数	3 3 3	加法定理の応用 三角関数の合成 微分係数	始業式
2		導関数の応用	3 3 3 3	導関数 接線・関数の値の変化 最大値・最小値	期末考査
3		積分法	3 3 3	不定積分 定積分 面積	終業式

教科名	数学	科目名	数学B	単位数	2 単位
対象学年	第2学年(普通科) 特別進学コース(理系・文系) 文理選抜コース(理系・文系) 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	特進文理2分割/ 総合進学一斉授業
科目の目標	大学センター入試で7割以上を得点できるように指導し、科目の総合的理解を図るとともに、個別学力試験に通用する十分な応用力をつける。基本事項を早めに習得し、数学的思考力を身につける。				
学習内容の概要	向きと大きさを持った量とその性質について学ぶ(平面上のベクトル・空間のベクトル)。ある規則にしたがって並ぶ数やその和、および数学的帰納法について学ぶ(数列)。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	数研出版 数学B(特進) 新編 数学B(文理・総合進学) 数研出版 4STEP数学Ⅱ+B(特進)、サクシード数学Ⅱ+B(文理)、3TRIAL 数学Ⅱ+B(総合進学) 数研出版 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ+B(特進・文理)、パラレルノート 数学B(総合進学)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	平面上のベクトル	平面上のベクトルとその演算	2 2 2	平面上のベクトル ベクトルの演算	始業式 入学式
5			2 2 2	ベクトルの成分 ベクトルの内積	中間考査
6		ベクトルと平面図形	2 2 2 2	位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	進路合宿 期末考査
7	空間のベクトル	空間のベクトル	2 2 2	空間の基本図形 空間の座標	終業式 夏期講習
8			2		始業式
9			2 2 2 2	空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積	
10			2 2 2 2	位置ベクトル ベクトルと図形	中間考査
11	数列	数列とその和	2 2 2 2	いろいろな数列 階差数列 数列の和と一般項	
12		数学的帰納法	2 2 2	漸化式 数学的帰納法 漸化式と数学的帰納法	期末考査 終業式
1	数学演習	数学ⅠA問題演習	2 2 2	センター試験対策演習	始業式
2			2 2 2 2		期末考査
3			2 2 2		終業式

教科名	理科	科目名	物理基礎	単位数	3単位	
対象学年	第2学年 普通科文理選抜コース理系		履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。					
学習内容の概要	物理分野における知識の基本的な内容から発展的内容まで理解する。					
学習方法	問題集や入試問題を通して内容を理解させる。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。					
使用教材	教科書 第一学習社 改訂新物理基礎、問題集 第一学習社 改訂プログレス物理基礎					
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事			
4	第I章 力と運動	第1節 物体の運動 1.速さと等速直線運動 2.変位と速度 3.速度の合成・相対速度 4.加速度 5.等加速度直線運動 6.重力加速度と自由落下 7.鉛直投げ下ろし・鉛直投げ上げ 8.水平投射・斜方投射	58	速度が向きをもった量であることを理解させる。相対速度の式を理解させる。直線運動における加速度の定義を理解させる。落体の運動は、加速度の大きさgの等加速度直線運動であることを理解させる。	始業式			
5		第2節 力と運動の法則		力は向きと大きさをもったベクトル量であること、重力、垂直抗力、摩擦力、弾性力について理解させる。力はベクトル量であり、合成や分解ができることを理解させる。慣性の法則、運動の法則を理解させ、運動方程式の立て方を習得させる。流体での圧力、浮力について理解させる。	中間考査			
6		1.力と質量 2.いろいろな力 3.力の合成・分解と力のつりあい 4.慣性の法則 5.力と質量とか速度の関係			期末考査			
7		6.運動の法則 7.作用・反作用の法則 8.摩擦力			終業式			
8		9.運動方程式の利用(1) 10.運動方程式の利用(2)						
9		第II章 エネルギー			第1節 仕事と力学的エネルギー 1.力がする仕事 2.仕事と仕事率 3.運動エネルギー 4.位置エネルギー 5.力学的エネルギー保存の法則 6.いろいろな運動と力学的エネルギー	64	仕事の定義、物体の運動エネルギーの変化が物体にされた仕事に等しいこと、および、この関係が導かれる過程を理解させる。重力による位置エネルギーを理解させる。力学的エネルギー保存則を理解させる。	始業式
10					第2節 熱とエネルギー 1.温度と熱運動 2.熱と熱平衡 3.熱と仕事 4.エネルギーの変換と保存		熱がエネルギーの一形態であることを理解させる。物質の3態の熱運動、熱量保存の法則、熱力学第一法則を理解させる。	中間考査
11					第III章 波動		第1節 波の性質 1.波と波動 2.波の表し方 3.波の重ね合わせと定常波 4.波の反射	波動について説明し、波が正弦波であることを理解させる。波の重ねあわせの原理を理解させる。
12	第2節 音波 1.音の速さと3要素 2.波としての音の性質 3.弦の固有振動 4.気柱の固有振動	音波の性質を理解させる。 弦や気柱の固有振動、共振・共鳴について理解させる。						
1	第IV章 電気	第1節 電荷と電流 1.電荷 2.電流と電気抵抗 3.物質と抵抗率 4.直流回路 5.電力量と電力	40	物体が帯電するしくみを理解させる。オームの法則を理解させる。導体の温度上昇、発熱量が電流と電圧と時間の積で表されることを理解させる。 交流の電圧、交流発電機、変圧器のしくみを理解させる。電磁波(電波、赤外線、可視光線、紫外線、X線、γ線)の性質を理解させる。	期末考査			
2		第2節 電流と磁場 1.磁場 2.交流の発生と利用 3.電磁波		様々なエネルギー種類と具体的な利用、エネルギー保存の法則を理解させる。原子力発電のしくみなどについて理解させる。				
3		第3節 エネルギーとその利用 1.太陽エネルギーの利用 2.原子力エネルギー						
	終章 物理学が拓く世界	進化する携帯電話		携帯電話の進化を学習し、日常生活の中で物理が大きく寄与していることを理解する。	終業式			

教科名	理科	科目名	物理	単位数	4 単位	
対象学年	第2学年 普通科理系物理選択		履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。					
学習内容の概要	自然界における現象を基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。					
学習方法	実験や視聴覚教材を利用し、演習問題を通して教科書の内容を理解させる					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。					
使用教材	教科書、第一学習社 改訂物理 問題集、第一学習社 セミナー物理基礎+物理					
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出や問題演習を行なう					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	第Ⅰ章 運動とエネルギー	第1節 平面運動と剛体のつりあい ①平面運動 ②放物運動 ③剛体にはたらく力 節末問題	72	速度や加速度のベクトルを用いた扱いを十分に理解させる。 剛体にはたらく力の効果は、力の大きさと向きのおかげに、作用線の位置により決まることを理解させる。	始業式	
5		第2節 運動量の保存 ①運動量と力積 ②運動量保存の法則 ③反発係数 節末問題		運動の法則から力積と運動量の関係が導かれ、これをもとに物体の衝突や分裂などの現象を扱う方法を理解させる。 反発係数は衝突直後と直前における2物体の相対速度の大きさの比で表されることを理解させる。	中間考査	
6		第3節 円運動と単振動 ①円運動 ②慣性力と遠心力 ③単振動 ④万有引力による運動 節末問題		等速円運動における物体の速さ、角速度、回転数、周期などを用いて表し、これらの間に成り立つ関係を学習させる。 等速円運動をする物体の直径方向への正射影が単振動であることを理解させる。 ケプラーの法則と運動方程式とから万有引力の公式が得られることを、惑星の運動を等速円運動とみなした場合について導き出す過程を示す中で理解させる。	期末考査	
7		第4節 気体の性質と分子の運動 ①気体の法則 ②気体の分子運動 ③気体の内部エネルギーと仕事 節末問題		理想気体の内部エネルギーは分子の運動エネルギーの総和であり、平均運動エネルギーと絶対温度の関係式から、内部エネルギーが絶対温度に比例することを理解させる。熱力学第一法則は、熱現象をも含めたエネルギー保存則であることを理解させる。	終業式	
8					始業式	
9	9	9	9	9	9	
10	第Ⅱ章 波動	第1節 波の伝わり方 ①波の性質 ②波の干渉・反射・屈折・回折 節末問題	32	波が伝わるということ・振動の伝播と波形から波の概念を理解させ、波はエネルギーを運び、情報を伝えることを理解させる。 波の独立性や重ね合わせの原理・ホイヘンスの原理・反射・屈折の法則など波の性質を理解させる。	中間考査	
11		第2節 音波 ①音の伝わり方 ②ドップラー効果 節末問題 第3節 光波 ①光の性質 ②レンズと鏡 ③光の回折と干渉 節末問題		音波は空気や水を伝わる縦波であるということや、音の三要素・音の反射・屈折・回折・干渉などの性質や「ドップラー効果」について理解させる。 光の波動性を実験や観察を通して理解させる。作図によってレンズの式を幾何学的に導き、レンズの性質を理解させる。 レンズによってできる像の種類としくみを理解させる。さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。		
12	第Ⅲ章 電気と磁気	第1節 電場と電位 ①電場 ②電位 ③コンデンサー 節末問題	52	電荷にはたらく遠隔力から電界の存在を理解し、電界のする仕事と位置エネルギーの関係から電位及び電位差を理解させる。 コンデンサーの原理と働きを理解させる。	期末考査	
1		第2節 電流 ①電流と抵抗 ②直流回路 ③半導体 節末問題		導体を移動する自由電子から電流について理解させる。 電気抵抗と回路を流れる電流の関係を理解する。 電流の向きと大きさについてしっかりと理解させる。 電流や電圧の意味を確認しながらキルヒホッフの法則をきちんと理解させる。 半導体について、電流が流れる仕組みや特徴を理解させる。	終業式	
2						始業式
3						

教科名	理科	科目名	化学基礎	単位数	3 単位
対象学年	第 2 学年 普通科文理選抜	履修形態	必修	授業形態	単 独
科目の目標	自然の事象・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付ける。				
学習内容の概要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解する。				
評価の観点 ・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	数研出版「新編化学基礎」、数研出版「リードlightノート 化学基礎」				
その他	定期考査に副教材からも出題をする。副教材は各自で自宅学習とする。定期的に副教材の学習進捗を確認し、平常点の提出物の状況として評価する。 講習を実施し、授業を進める場合もある。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	序章 化学と人間生活		9	高校化学の勉強の仕方について説明する。化学基礎で必要な計算問題・単位・有効数値などを確認する。	始業式
5	物質の構成	1 混合物と純物質 2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動	9	物質の分類と、元素について理解する。状態変化と化学変化の違いを学び、温度の本質についてもふれる。	中間考査
	物質の構成粒子	1 原子とその構造 2 イオン 3 元素の周期表	11	物質を構成する原子について学び、それから生じるイオンや周期性について理解する。	
6	粒子の結合	1 イオン結合とイオンからなる物質 2 分子と共有結合 3 共有結合結晶 4 金属結合と金属	15	原子やイオンがどのような力によって結合し物質を作り出しているのかを理解する。また、化学結合に関係する価電子の役割について考える。	期末考査
7					終業式
8	物質の量と化学反応式	1 原子量・分子量・式量 2 物質の量 3 溶液の濃度 4 化学反応式と物質の量	18	物質の量を表す物質質量について学習し、簡単な計算ができるようにする。化学反応式が表す意味と物質質量の関係を学習し、化学変化の量的関係について理解し計算できるようにする。化学反応におけるモル濃度の有用性を学習し、質量%濃度との関係を理解する。	始業式
9					
10	酸と塩基の反応	1 酸・塩基 2 水の電離と水溶液のpH 3 中和反応 4 塩	25	酸と塩基の基本的知識を復習し、水素イオンによる新しい酸・塩基の定義を学習する。水素イオンの濃度により酸・塩基の強さを表すpHについて理解する。中和反応のしくみを理解し、その量的関係について計算できるようにする。	中間考査
11					期末考査
12					終業式
1	酸化還元反応	1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用	30	酸化還元反応を再定義し、電子移動反応として、統一的に理解させる。また、金属元素の反応を酸化還元の見点から考えさせ、電池や電気分解の原理を理解し、その量的関係について計算できるようにする。	始業式
2					期末考査
3					終業式

教科名	理科	科目名	化学基礎	単位数	3 単位
対象学年	第 2 学 年 普通科総合進学	履修形態	必修	授業形態	単 独
科目の目標	自然の事物・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付けさせる。				
学習内容の概要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解させる。				
学習方法	実験結果や視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解させる。				
評価の観点 ・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	数研出版「新編化学基礎」、数研出版「新編化学基礎ノート」				
その他	定期考査は教科書の問題を中心に副教材からも出題をする。副教材は自主学習にも利用する。定期的に学習進度を確認し、提出物も平常点として評価する。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	序章 化学と人間生活		18	高校化学の勉強の仕方について説明する。人間生活の中で化学がどのような役割をしているかを確認する。	始業式		
	物質の成分と構成元素	1 物質の成分 2 物質の構成元素 3 物質の三態		物質の分類と、元素について理解する。状態変化と化学変化の違いを学び、温度の本質についてもふれる。			
5	原子の構造と元素の周期表	1 原子の構造 2 電子配置と周期表	13	物質を構成する原子について学び、それから生じるイオンや周期性について理解する。	中間考査		
6	化学結合	1 イオンとイオン結合 2 分子と共有結合 3 金属と金属結合	21	原子やイオンがどのような力によって結合し物質を作り出しているのかを理解する。また、化学結合に関係する価電子の役割について考える。	期末考査		
7							終業式
8	物質と化学反応式	1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式とその関係	18	物質の量を表す物質質量について学習し、簡単な計算ができるようにする。化学反応式が表す意味と物質質量の関係を学習し、化学変化の量的関係について理解し計算できるようにする。化学反応におけるモル濃度の有用性を学習し、質量%濃度との関係を理解する。	始業式		
9							
10	酸と塩基	1 酸と塩基 2 水素イオン濃度とpH 3 中和反応と塩 4 中和滴定	28	酸と塩基の基本的知識を復習し、水素イオンによる新しい酸・塩基の定義を学習する。水素イオンの濃度により酸・塩基の強さを表すpHについて理解する。中和反応のしくみを理解し、その量的関係について計算できるようにする。	中間考査		
11							期末考査
12							
1	酸化還元反応	1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の応用	30	酸化還元反応を再定義し、電子移動反応として、統一的に理解させる。また、金属元素の反応を酸化還元の観点から考えさせ、電池や電気分解の原理を理解し、その量的関係について計算できるようにする。	始業式		
2							期末考査
3							

教科名	理科	科目名	化学演習	単位数	2 単位
対象学年	第 2 学年 普通科特別進学(文系選択)	履修形態	必修	授業形態	分割
科目の目標	化学基礎のセンター入試の問題を解くために必要な知識や考え方を身につける。				
学習内容の概要	問題演習を通して、1年時に学んだ内容の復習と苦手分野の強化をする。				
学習方法	化学基礎の問題を問題演習を通して復習し、理解度を確認するためにテストをする。				
評価の観点	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。				
・評価方法	平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	数研出版「三訂版 リードLightノート 化学基礎」、数研出版「ゼミノート 化学基礎」				
その他	分野ごとに問題演習を行うので、予め教科書等に目を通しておくこと。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	物質の構成と化学結合	混合物と純物質 物質とその成分 物質の三態と熱運動	26	去年学習した内容の復習として基本的な問題を解き、自分が苦手な分野の確認をする。解けなかった問題や間違えた問題について授業中に確認をする。その後、確認テストを行う。	始業式
	物質の構成粒子	原子とその構造 イオン			中間考査
5	粒子の結合	元素の周期表 イオン結合とイオンからなる物質 分子と共有結合			期末考査
6	物質と化学反応式	共有結合結晶 金属結合と金属 原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度			終業式
7					
8	物質と化学反応式	化学反応式と物質質量	4	1学期の復習をかねて、化学反応式の量的関係について確認する。 化学基礎の中で特に重要な中和反応と酸化還元反応を中心に問題演習をする。 去年学習した内容の復習として基本的な問題を解き、自分が苦手な分野の確認をする。解けなかった問題や間違えた問題について授業中に確認をする。その後、確認テストを行う。	
9	酸と塩基の反応	酸・塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応 塩	16		中間考査
10					
11	酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用	14		期末考査
12					終業式
1	総合演習	総合問題演習 模試対策演習 センター対策演習	20	センターレベルの問題を演習する。	始業式
2					期末考査
3					終業式



教科名	外国語（英語）	科目名	英語表現 I	単位数	2 単位
対象学年	第 2 学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	① 情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。 ② この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定する。その場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くこと。				
学習方法	聞くこと、話すことおよび読むことも有機的に関連付けた活動を行いながら、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように学習する。				
評価の観点・評価方法	1 学期・2 学期・3 学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	Vision Quest English Expression I Advanced - Keirinkan Vision Quest English Expression I Advanced Workbook - Keirinkan				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	My name is Tanaka Kaito.	6	Introductions Intonation Backchannel responses Types of sentences	始業式 新入生合宿
5	Lesson 2	How did you get interested in Japan?	8	Interests Rhythm Rephrasing Changing the subject Sentence patterns and verbs	中間考査
6	Lesson 3	I'm planning to go to Nagano this summer.	8	Travel Vowels Making plans / scheduling Tense	期末考査
7	Lesson 4	Have you ever seen a live soccer game?	6	Sports Consonants Starting causes or reasons Perfect aspect	終業式
8	Lesson 5	Can you help me with this plate?	2	Eating out Katakana words Asking for permission / favors Auxiliary Verbs	始業式
9	Lesson 6	The Sapporo Liliac Festival will be held next week.	8	Sightseeing Pronunciation of numbers Expressing pleasure / surprise Passive voice	
10	Lesson 7	Thank you for coming to my birthday party.	8	Socializing Word stress Thanking Apologizing Infinitives	中間考査
11	Lesson 8	How about going to a movie this afternoon?	8	Pastimes Sound links Inviting Making offers Gerunds	期末考査
12	Lesson 9	Rules are for everyone's comfort and safety.	6	Rules Sound changes Agreeing Disagreeing Participles	終業式
1	Lesson 10	A must-have item for those who run shops.	6	Cultures Disappearing sounds Explaining Relative clauses	始業式
2	Lesson 11	I believe everything has a positive side.	8	Social problems Sentence stress Stating an opinion / asserting Comparison	期末考査
3	Lesson 12	I wish my father were more understanding.	6	Problems Giving advice Making suggestions Am. English and Brit. English Subjunctive	卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	ビジネスマナー	単位数	2単位
対象学年	第2学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	選択授業
科目の目標	社会に出れば学生時代とは異なり、責任と義務が大きくなる。社会では常に全力をつくして仕事に取り組まなければならない。学生時代に社会人として必要なマナーと知識を習得させ、身につけて実践させることにより、ビジネスの諸活動が快適かつ意欲的に過ごせるよう学習させる。				
学習内容の概要	秘書検定の内容を通じてオフィスでの基本を身につけさせる。 労働基準法の内容を取り扱い、働くということが法的な観点から見てどのようなものなのかを理解させる				
学習方法	座学による学習。單元ごとに問題を与え、理解度を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は日常の服装・授業態度・意欲・提出物の状況・理解度等で評価する。				
使用教材	早稲田教育出版『秘書検定3級実問題集』、プリント				
その他	原則的に補習は行わない。 秘書検定3級取得を目指す。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	身だしなみ オフィス環境	望まれる身だしなみ 室内清掃、環境整備	6	・服装全般を中心に職場において望まれる身だしなみについて理解させる。 ・応接室、会議室など清掃、整備のポイントを理解させる。	始業式
5	オフィス用品  文書	ファイリングと資料管理 名刺の管理 主な事務用品 各種消耗品 受発信文書 マル秘文書の取り扱い	5	・資料や名刺の管理に必要な道具と整理の仕方、資料管理の重要性について理解させる。 ・基本的な文書構成、文書の取り扱いについて理解させる。	中間考査
6	郵便物  対話・言葉遣い  電話応対	各種郵便物 特殊取扱郵便物 尊敬語 謙譲語 電話のかけ方、受け方	5	・各種郵便物の特徴、特殊取扱郵便物の種類と特徴について理解させる。 ・敬語の種類と使い分けについて理解させる。 ・電話応対の注意点を理解させる。	期末考査
7	慶弔・贈答	慶事、弔事 各種贈答	4	・各種慶弔・贈答に必要な知識、注意事項を理解させる。	終業式 夏期補習
8	来客応対	席次 上司不在の場合 茶菓接待	2	・来客の応対に必要な注意点について理解させる。	始業式
9	会議とその準備  主張とその準備	事前準備と後始末  出張における秘書の仕事	8	・会議における秘書の役割について理解させる。 ・出張時の秘書の仕事について理解させる。	
10	検定練習	過去問練習	6	・実問題集を用いて検定試験に備える。	中間考査
11	検定練習  慶弔	過去問練習  金子包の上書き練習	6	・実問題集を用いて検定試験に備える。 ・慶弔時に使用する金子包に毛筆で表書き練習し、綺麗な文字が書けるようにさせる。	秘書検定 期末考査
12	検定練習	過去問練習	4	・実問題集を用いて検定試験に備える。	
1	検定練習	過去問練習	5	・実問題集を用いて検定試験に備える。	終業式 始業式
2	検定練習	過去問練習	6	・実問題集を用いて検定試験に備える。	期末考査
3	検定練習	過去問練習	5	・実問題集を用いて検定試験に備える。	終業式

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4 単位
対象学年	第 2 学年 普通科特進(理系)	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	自然の事物・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付けさせる。				
学習内容の概要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解させる。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用しながら、教科書の内容を理解させる。				
評価の観点	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。				
・評価方法	平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	数研出版「新編 化学」、数研出版「新編 化学 準拠ノート 教科書の整理」				
その他	長期休暇の講習等で全員が出席の場合は、授業を進める場合もある。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	物質の状態	粒子の結合と結晶	40	化学基礎で学習しているが、ここで一通り復習する。 非晶質について、通常の結晶との違いについて理解する。 気液平衡の概念や状態変化にもなう熱の出入りについて理解する。 気体の体積と圧力と温度の関係を理解し、計算方法を体得する。 溶解のしくみや希薄溶液でおこる現象を理解し、計算方法を体得する。	始業式
5		物質の状態変化			中間考査
6		気体			7
7	溶液				
8	物質の変化	化学反応とエネルギー	12	化学変化や状態変化には熱の出入りが伴う。この現象の意味することをエネルギーの観点から考える。	
9	無機物質	電池と電気分解	36	電気分解のしくみと量的関係を理解する。 さまざまな化学反応について、その反応の速さの違いや、化学平衡の状態について、反応のしくみと合わせて学ぶ。 化学平衡が濃度・圧力・温度の変化によって変化するが、その変化の仕方とそのしくみについて理解する。	始業式
10		化学反応と速さのしくみ			中間考査
11	無機物質	化学平衡	28	100種類以上ある元素も、その性質によっていくつかのグループに分けて考えるとより理解しやすい。元素を周期表に基づいて分類し、それにあわせて単体や化合物の性質を広く学ぶ。金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習する。	期末考査
12		非金属元素 典型金属元素 遷移元素			終業式
1	有機化合物	有機化合物の分類と分析	40	有機化合物の特徴や分類法、成分元素の検出、そして実験から分子式を求める方法などを学ぶ。 命名法や個々の物質の性質はもとより、単結合・二重結合・三重結合など分子の構造に基づく有機化合物の考え方を把握する。 ベンゼン環をもつ化合物の種類とその性質を学ぶ。	始業式
2		脂肪族炭化水素			期末考査
3		アルコールと関連化合物 芳香族化合物			

教科名	理科	科目名	生物演習	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科特進(文系選択)	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す普通科の生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせると同時に、センター試験に必要な最低限の学力をつけさせることを目標とする。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。				
学習方法	1年次に学習した基礎的な知識をもとにして教科書の内容を総合的に理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・実験観察の態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目で評価する。				
使用教材	教科書、数研出版 新編 生物基礎 問題集、数研出版 チェック&演習 生物基礎				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて課題・宿題提出を行なう				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1編 生物と遺伝子	生物の特徴	6	多様な生物種の中にも共通性があることを理解させる。共通性の1つである細胞が生物の基本単位であること、細胞小器官の構造、動・植物の細胞の違いなどについて理解させる。共通性の1つである代謝について学ぶ。中でもエネルギーの観点から同化・異化の内容、酵素反応について理解させる。共通性の1つである個体の増殖についてまなぶ。また、遺伝子の本体であるDNAの構造や発見までの歴史、遺伝子発現の仕組みなどについて理解させる。DNAが複製され遺伝情報が分配されることにより、細胞が様々な形態やはたらきに分化するを理解させる。	始業式
5		遺伝子とのはたらき	6		中間考査
6			8		期末考査
7	第2編 生物の体内環境の維持	生物の体内環境	6	生物の体内環境の維持についてのメカニズムについて学び、健康との関係を理解させる。内部環境の維持の仕組み、特に水分調節、血糖量調節などの仕組みについて学ぶ。また、それらは自律神経系と内分泌系の協調により調節しているよとを理解させる。また、生体防御としての免疫についても学ぶ。	終業式
8			2		始業式
9			8		
10	第3編 生物の多様性と生態系	植生の多様性と分布	8	植物の多様性と生態系の成り立ちについて学ぶ。植生は長期的に移り変わるが、その要因はどのようなものが関係するかについて学び理解させる。	中間考査
11			8		
12		生態系とその保全	6	気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成り立っていることを理解させる。生態系のしくみやそのバランスについて学び理解させ、その保全が重要であることを考えさせる。	期末考査
1			6		終業式
2			8		始業式
3	総合問題	6	総合演習問題をさせより入試を意識した問題を解き理解し定着を図る。	期末考査	
					終業式

教科名	理科	科目名	生物	単位数	4 単位	
対象学年	第2学年 普通科特進理系生物選択		履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の生物分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。					
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。					
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。					
使用教材	教科書、東京書籍 スタンダード生物 問題集、数研出版 五訂版 リードα 生物基礎+生物					
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事			
4	第1編 生命現象と物質	第1章 生体物質と細胞 1. 生体の体をつくる細胞とその構造 2. タンパク質の構造と性質	56	細胞を構成する物質について学習する。特にタンパク質については基本的な構造を学習した上で酵素などその立体構造と生命活動において果たすはたらきとの関連を理解させる。	始業式			
5		第2章 生命現象を支えるタンパク質 1. タンパク質の構造とはたらき 2. 酵素としてはたらくタンパク質 3. 輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 4. 免疫にかかわるタンパク質 5. 細胞接着にかかわるタンパク質		次に細胞内構造とその働きについて学習する。生体膜や細胞骨格についてはその構造や機能を学習する。	中間考査			
6		第3章 代謝とエネルギー 1. エネルギー変化と化学反応 2. 呼吸 3. 発酵と解糖 4. 光合成 5. 窒素同化と窒素固定		細胞活動において様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。また、生物基礎で学習した呼吸・光合成・窒素同化についてさらに詳しい仕組みを理解させる。	期末考査			
7				生物基礎で学習したDNAの構造・複製・タンパク質合成の仕組みをさらに詳しく学習し理解させる。また、遺伝子の発現と調節を転写レベルの内容から中心に学習する。	終業式 夏期補習			
8				第1章 DNAの構造と複製 1. DNAの構造と方向性 2. DNAの複製 第2章 遺伝情報の発現 1. 遺伝情報の流れ 2. 3. タンパク質の合成 4. 遺伝情報の変化 第3章 遺伝子の発現調節 1. 転写開始の調節 2. 遺伝子の発現調節 第4章 バイオテクノロジー 1. 目的の遺伝子を増やす 2. 遺伝子の情報を解読する 3. 遺伝子を細胞内に導入する 4. バイオテクノロジーの課題	32	遺伝子を扱ったバイオテクノロジーについて、その原理と有用性を理解させる。  染色体に遺伝子が存在することを学習したうえで、有性生殖では、減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを理解させる。	始業式  中間考査	
9	第2編 遺伝子のはたらき	第4章 生殖と発生 1. 遺伝子と染色体 2. 減数分裂と遺伝情報の分配 3. 遺伝子の多様な組み合わせ 4. 動物の配偶子形成と受精 5. 初期発生の過程 6. 細胞の分化と形態形成 7. 植物の発生	40	動物の配偶子形成・受精と初期発生の過程を学習する。また、細胞の分化や形態形成のしくみについて、誘導現象を中心に理解させる。また、形態形成を調節する遺伝子について学習する。植物の配偶子形成・受精と胚発生の過程を学習し、器官分化における遺伝子のはたらきについて理解させる。	期末考査 終業式			
10				第3編 生殖と発生	ニューロン(神経細胞)の基本的な構造とそのはたらきを理解させる。	始業式		
11					第5章 動物の反応と行動 1. ニューロンとその興奮 2. 刺激の受容 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動	28	受容器で受け取られた刺激(情報)が、神経系を介して、効果器へと至る経路を学習する。特に視覚器と聴覚器を中心に取り上げ、効果器に関しては筋肉を中心に取り上げる。動物の行動については、神経系における情報の流れと関連づけながら扱う。	卒業式 期末考査
12								
1	第4編 生物の環境応答	第5章 動物の反応と行動 1. ニューロンとその興奮 2. 刺激の受容 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動	28	受容器で受け取られた刺激(情報)が、神経系を介して、効果器へと至る経路を学習する。特に視覚器と聴覚器を中心に取り上げ、効果器に関しては筋肉を中心に取り上げる。動物の行動については、神経系における情報の流れと関連づけながら扱う。	卒業式 期末考査			
2						第4編 生物の環境応答	第5章 動物の反応と行動 1. ニューロンとその興奮 2. 刺激の受容 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動	
3	第4編 生物の環境応答	第5章 動物の反応と行動 1. ニューロンとその興奮 2. 刺激の受容 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 5. 動物の行動						

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科男子	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・サッカー・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	陸上	跳躍	2 2 2	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式		
5		投てき	2 2 2		中間考査		
6		競走	2 2 2		期末考査		
7		跳躍・投てき・競走	2 2 2		測定。	終業式 夏期補習	
8			2		自己の能力に応じた目標を立てる。	始業式	
9		サッカー	パス		2 2 2	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	学校祭 中間考査
10			ドリブルシュート		2 2 2		
11	ゲーム		2 2 2	期末考査			
12	パス		2 2 2	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	終業式		
1	バスケットボール	ドリブルシュート	2 2 2	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式		
2		ゲーム	2 2 2		入試  期末考査		
3			2 2 2		終業式		

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科女子	履修形態	必修	授業形態	合併クラス単位
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・バレーボール・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事		
4	陸上	跳躍	2 2 2	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式		
5		投てき	2 2 2		中間考査		
6		競走	2 2 2		期末考査		
7		跳躍・投てき・競走	2 2 2		測定。	終業式 夏期補習	
8		バレーボール	パス		2 2 2 2	パスの種類を覚える。 (オーバーパス、アンダーパス) 正しいパスの仕方を学ぶ。	始業式
9			サーブ		2 2 2		学校祭 中間考査
10			アタック		2 2 2		正しいアタックの仕方を覚える
11	ゲーム		2 2 2	協調性を高める学習をする。	期末考査		
12	バスケットボール	パス	2 2 2	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	終業式		
1		ドリブルシュート	2 2 2		ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式	
2		ゲーム	2 2 2		協調性を高める学習をする。	入試	
3						期末考査	
						終業式	

教科名	保健体育	科目名	スポーツ概論	単位数	2 単位
対象学年	第2学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	分割
科目の目標	「スポーツ」に関する基礎知識を学習し、生涯を通してスポーツにかかわることができる能力を育てる。				
学習内容の概要	身体に関する基本的な構造と一般的なトレーニング方法。また、「スポーツ」に関係する事について学習する。				
学習方法	講義のかたちを中心とし、実技や外部講師の先生を招き学習する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも筆記試験と平常点で評価する。平常点30点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション トレーニング科学Ⅰ	身体測定① 身体の構造	2 2 2	自らの身体部位についての理解を 深め、現在の状態を理解する。	始業式
5		・骨格・関節・筋肉・腱について  筋収縮のエネルギー供給 筋カトレーニングの基礎	2 2 2 2	身体を形作る各構造を理解する。  身体活動のもととなるエネルギー供給 を学習する。	中間考査
6	スポーツ心理学Ⅰ	バイオメカニクス① あがり	2 2 2 2	心理的な要因によって、競技力が低下す ることを理解したうえで、それを克服するこ とができることを学習する。	期末考査
7	スポーツ選手に 発生しやすい疾病	熱中症・過換気症候群・貧血	2 2 2	スポーツ選手に起こりやすい疾病を理解 し、その対処を学習する。	終業式 夏期補習
8	トレーニング科学Ⅱ	身体測定②	2		始業式
9		トレーニング実践 ・トレーニング計画 ・筋力・パワー・筋持久力 スピードトレーニング	2 2 2 2	各種の筋カトレーニング等を学習し、 実践する。このことにより、自身が 係わる競技のトレーニングを補完す ることが出来るように学習する。	学校祭 中間考査
10		・コンディショニング バイオメカニクス② ・数種目の活動から	2 2 2 2	専門の種目の構造の理解を深める。	
11	スポーツ心理学Ⅱ	発達心理 行動と動機 メンタルトレーニング特別授業	2 2 2 2	競技活動によって起こる自身と周囲の変 化や期待を客観的に学習する。 メンタルトレーニングについて、外部講師 を招く。	期末考査
12		イメージトレーニング 身体測定③	2 2 2		終業式
1	スポーツによる外傷	各部位別の外傷  種目における特性	2 2 2	スポーツ活動をするにあたり、起こり やすい外傷とその対処、応急処置を 学習する。	始業式
2	スポーツ社会	応急処置  スポーツと文化・社会	2 2 2	スポーツ活動は実際に活動すること だけではなく、観る・携るなどの面か らスポーツ活動をとらえることがで きるように学習する。	入試  期末考査
3		生涯スポーツ 身体測定④	2 2 2		終業式



教科名	芸術	科目名	書道 I	単位数	2単位
対象学年	第2学年 情報総合科(情報・アート) 普通科(総合進学・文理選抜)		履修形態	必修	授業形態
科目の目標	書道の幅広い活動を通し、書を愛好する心情を育てるとともに 感性を豊かにし、基礎的な能力を伸ばし、表現と鑑賞の能力を高める。				
学習内容の概要	基本的な練習の中に コンクール、硬筆書写検定などを取り入れ、幅広い体験を目指す。				
学習方法	生徒の個性が活きるように個々のレベル、関心に応じて添削時の一対一の会話、ふれあいを重視し定着を図る。				
評価の観点・評価方法	書への関心、意欲、態度、発想や創造的な表現の技能・能力などを勘案したものであるように配慮する。規定に従い、1学期・2学期・3学期とも考查点と平常点と出欠点で評価する。(定期考查は行わないので、毎回の清書を考查とみなす。) 書道の場合、平常点を重視したい。				
使用教材	教育図書 書 I				
その他	伯耆大山駅へ展示協力				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	書へのいざない	◎書写から芸術への導入。 ◎姿勢・執筆法の基本	6	文房四室について 道具の扱いについて 臨書について 「一」の書き方について	始業式
5	漢字の書(楷書)	◎九成宮醜泉銘 ◎孔子廟堂碑	6	作品の生まれた背景、風土、民族性、個性など筆者と作品について考える。基本的な用筆を学びながら様々な書風を理解する。	中間考查
6	漢字の書(楷書)	◎雁塔聖教序 ◎顔氏家廟碑 ◎牛橛造像記	8	基本的な用筆を学びながら様々な書風を理解する。 幅広い表現を学び、伝統に根ざした技法を習得する。 (造像記は出来ないクラスあり) (その場合は鑑賞、説明のみ)	期末考查
7	漢字の書(行書)	◎蘭亭序 ～王羲之から学ぶ		行書の特徴を 結構、用筆、 運筆から理解する。 王羲之について知る。	終業式
8	鑑賞および創作	◎創作	8	今までの古典をもとに、自分で考え、自由に表現してみる。	始業式
9	硬筆の学習	◎硬筆書写検定 (理論)		毛筆に飽きる頃、硬筆を取り入れ気分転換を図る。	
10		◎硬筆書写検定 (実技)	16	3級取得目標。 部首名、書き順など理論学習。 ひらがな、楷書の基本練習。 行書の書き方を習得する。 ハガキ、ポスターの書き方など。	中間考查
11	漢字の書(隸書) 漢字の書(行書)	◎曹全碑 ◎風信帖 ～競書大会	8	特色ある蔵鋒の筆遣いを学び、 様々な書風を理解する。 空海や、三筆について知る。 真剣な取り組みで、賞を目指す。	
12	生活の中の書 創作の学習	◎実用書・年賀状の書き方 ◎書初め大会	6	御祝、賀状など生活の中にある身近な書への関心を深める。 大きな紙による真剣な取り組みにより刺激を与える。	期末考查 終業式
1	仮名の書	◎仮名の成立 ◎平仮名の単体	6	仮名の歴史、基本など「いろは歌」から学ぶ。 仮名のリズムカルな運筆を学ぶ。	始業式
2	刻字の学習(篆書)	◎泰山刻石		最も古い篆書を学んだ後、立体性による視覚効果作品製作。 自由な発想で書かせてみる。 (運筆リズム、濃淡、潤滑など) 集の表紙制作。	期末考查
3	漢字仮名交じりの書(創作) まとめ	◎好きな歌、詩より {鑑賞、イメージと表現} ◎書道歴の学習	14	1年間分の作品を自分で作った「こより」で綴じ自己評価する。 プリントで1年間のまとめをする。	終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4単位
対象学年	第2学年 普通科 特別進学コース・文理選抜コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	①英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができる。 ②英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を身につけ、意見を共有することができる。				
学習内容の概要	目標に基づき、「コミュニケーション英語Ⅱ」の内容のコミュニケーション活動を更に発展させて学習する。				
学習方法	適当な言語の使用場面を適宜取り上げ、有機的に組み合わせ活用する。 その際、聞いたり読んだりした内容について、それについての質問に答えたり、その部分の要約を書いてペアで発表しあったりするなど、総合的な言語活動を行う。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	「LANDMARK Communication English II」（啓林館）予習ノート 「総合英語Evergreen」（いっずな書店）Workbook 「チャンクで英単語 Advanced」 投野 由紀夫編 （三省堂）				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	英文の展開パターン Lesson1 I'm the Strongest!	Preparatory Lesson  プロ車いすテニスプレーヤーになるまでの経緯を理解し、その生き方を理解する。	1  16	デイスコスマーカーの役割を学ぶ  繰り返しを避けるための省略、過去完了進行形	始業式
5	Lesson2 Tokyo's Seven minute Miracle	テッセイの仕事内容を理解する	16	強調のための倒置、形式目的語it	中間考査
6	Lesson3 Saint Bernard Dogs	セントバーナード犬の救助犬としての歴史を理解する	16	受動態の分詞構文、完了形の分詞構文	進路合宿 期末考査
7	Tips for Listening1,2 Reading1	英語の音声の特徴について理解する 物語を読む	2  2	英語の音声の特徴	終業式
8	Lesson4				始業式
9	Chanel's Style	革新者であり続けたシャネルの原動力を理解する	16	SV+分詞、SVO+分詞、with+OC	
10	Lesson5 Science of Love	なぜ人は恋をするのかについての発表の概要を理解する。	16	同格のthat、疑問詞+do you think(S)V?	中間考査
11	Lesson6  Tips for Listening3,4	環境に優しい活動について考える  英語の音声について理解する。	14  2	過去完了形、使役動詞	期末考査
12	Lesson7 Letters from a Battlefield  Reading2	硫黄島の戦いや、兵士が家族にあてた手紙について理解する。  物語を読む	10  2	複合関係詞、動名詞の意味上の主語	終業式
1	Lesson8 Edo: A Sustainable Society	江戸時代の循環社会が成功した理由を理解する。	16	関係代名詞の非制限用法、独立分詞構文	始業式・実力テスト
2	Lesson9 AI and Our Future	AIの発展にともなう脅威と人類との共存について理解する。	16	as if 仮定法、助動詞+have+過去分詞	期末考査
3	Lesson10 Bhutan: A Happy Country  Reading3	ブータンの地理と歴史、ブータン人の幸福感を理解する。  物語を読む	10  2	強調構文、副詞節中のS beの省略について理解する。	卒業式  終業式

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション 英語 II	単位数	4単位
対象学年	第2学年 普通科 総合進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容の概要	教科書及びその関連した言語材料を用い、4領域を総合的、有機的に関連付けたコミュニケーション活動を行う。				
学習方法	教科書の付属のワークブックを使用し、教科書の定着をはかる。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	LANDMARK Fit English Communication II LANDMARK Fit English Communication II 予習・完成ノート				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	LANDMARK Fit Lesson 1	I'm the Strongest	2	全課を通して: 内容を素早く理解する/語句語 法・重要表現・文法事項を理解 しそれを使って発話・作文・意見 交換できるようになる	始業式
			4		
			4		
5	Lesson 2 Lesson 3	Tokyo's Seven-minute Miracle Saint Bernard Dogs	4		中間考査
			4		
			4		
6	Lesson 4	Chanel's Style	4		
			4		
			4		
7	Sound Practice	1. 三桁以上の数字 2. 分数と小数	4		期末考査 終業式
			4		
			4		
8	Lesson 5	Science of Love	4		始業式
			4		
			4		
9	Lesson 6	Gaudi and His Messenger	4		学校祭
			4		
			4		
10	Lesson 7	Letters from a Battlefield	4		中間考査
			4		
			4		
11	Lesson 8	Edo: A Sustainable Society	4		
			4		
			4		
12	Sound Practice	3. 時刻・時間 4. いろいろな数字	4		期末考査 終業式
			4		
			4		
1	Lesson 9	AI and Our Future	4		始業式
			4		
			4		
2	Lesson 10 Reading The Fall of Freddie the Leaf	Bhutan: A Happy Country	4		期末考査
			4		
			4		
3			4		終業式
			4		
			4		